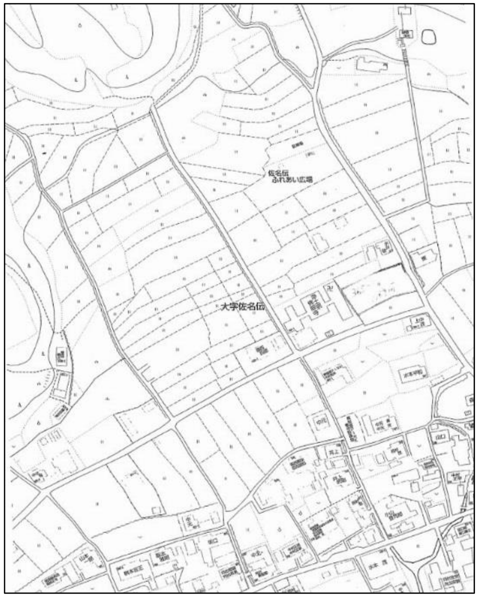
○奈良県吉野郡大淀町佐名伝地区

地区の特徴・状況

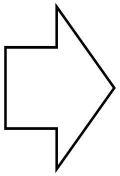
○
・中山間地域の水田地帯、未整備田や湿田が多い。
・水稲や露地野菜が主に作付けされているが、担い手の高齢化が進み遊休地がところどころ見られる。
・後継者として２名が新規就農し、施設野菜に取り組んでいる。今回１名が地区外から新規就農してきた。
・中山間地域で、獣害が拡大している。

取組のポイント

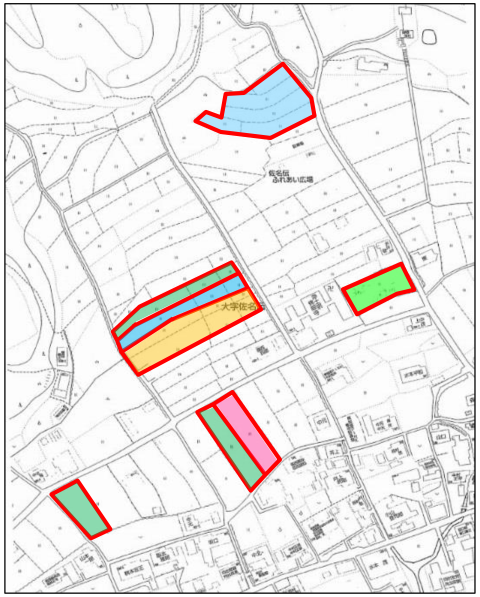
○
・新規就農者の定年退職を機とした本格的な就農に向け、市町村マネジメントチームで面談を実施。
・機構がまとまった農地を借受者とともに掘り起こし、所有者へ事業についての丁寧な説明を実施。1回目のマッチングを契機に、地域で就農を開始したことで、多くの所有者の目にとまることとなり関心が高まっていった。その後、出し手候補となる複数の所有者へ機構が連絡を取り、更なる掘り起こしに成功。
・地域外農業者であるが、町役場の協力や本人の地域での積極的な出役参加などを通じて、地域に溶け込んでいる。
・地域では、獣害や農家の高齢化に伴い、遊休農地や遊休化する恐れのある農地が多くなっている。マッチングにおいて機構独自の耕作放棄地再生事業を活用するとともに、町役場も県の畑地化整備事業を活用して担い手への農地活用を促進しているところ。



活用前



【凡例】
- １回目
- ２回目
- ３回目
- ４回目
- ５回目



活用後

活用前（転貸前）→活用後（転貸後）

①機構から転貸を受ける担い手の集積面積及び集積率
　0 ha → 1.2ha
②機構から転貸を受ける担い手の平均経営面積
　0 ha／経営体 → 1.2ha／経営体
③機構から転貸を受ける担い手が利用する団地数
　0 箇所 → 3 箇所
④機構から転貸を受ける担い手が利用する団地（連続して作付けできる圃場）の平均面積
　0 ha／団地 → 0.3ha／団地
⑤機構から転貸を受けた新規就農者数：１人
⑥機構から転貸を受けた参入企業数：０法人